

實用中藥大要

官田武雄 原著
錢信忠 譯



一九四九年八月印

實用中藥大要目錄

第一編 總論.....	(1)
第一章 調製法.....	(1)
一、採集與乾燥.....	(1)
二、生熟與陳新.....	(1)
三、修治法(炮製法).....	(2)
第二章 應用方法.....	(2)
一、丸藥.....	(2)
二、散劑.....	(3)
三、煎藥.....	(3)
四、酒漬.....	(3)
五、膏藥.....	(3)
第三章 藥的性味與效能.....	(3)
一、性味.....	(4)
二、效能.....	(4)
第四章 處方的構成與藥性.....	(6)
一、處方的構成.....	(7)
二、君臣佐使之含義.....	(7)
三、藥之七性.....	(7)
四、合藥的方式.....	(8)
第五章 藥的成份.....	(9)
一、Alkaloids.....	(9)
二、Glycosides.....	(10)

三、SaPonine	(11)
四、Glybsansen 蘇酸	(11)
五、Oetherische Oele 揮發油	(11)
六、脂肪油Fetle Oele	(12)
第二篇 各論	(15)
第一章 發汗及解熱劑	(15)
一、茵陳蒿 (白蒿)	(15)
二、黃芩 (條芩)	(14)
三、葛根 (黃芹)	(14)
四、菊花 (野菊花)	(15)
五、荊芥	(15)
六、牛黃	(15)
七、香薷	(16)
八、柴胡	(16)
九、細辛	(17)
一〇、山梔子	(17)
一一、犀角	(18)
一二、松蘿	(18)
一三、升麻	(18)
一四、紫蘇	(19)
一五、常山	(19)
一六、石膏	(20)
一七、知母	(20)
一八、地龍	(21)
一九、竹茹	(21)
二〇、防風	(22)

第二章 健胃劑	(22)
一、黃連	(22)
二、黃蘗 (黃柏)	(23)
三、藿香	(24)
四、甘松香	(24)
五、枳實	(24)
六、苦木	(24)
七、桂枝	(25)
八、厚朴	(25)
九、吳茱萸	(26)
一〇、胡椒	(27)
一一、薑蒲	(27)
一二、生薑	(27)
一三、丁香	(28)
一四、陳皮	(28)
一五、當藥	(29)
一六、檳皮	(29)
一七、肉豆蔻	(29)
一八、香杏	(30)
一九、牡蠣	(30)
二〇、木香	(30)
二一、熊胆	(31)
二二、龍胆	(31)
第三章 瀉下劑	(32)
一、營實	(32)
二、決明子 (江南豆)	(32)

三	、牽牛子	(33)
四	、鼠李子	(33)
五	、大黃	(34)
六	、續隨子	(35)
七	、白桃花	(35)
八	、巴豆	(35)
九	、蓖麻油	(36)
一〇	、無花果	(36)
一一	、蘆薈	(37)
第四章	收斂與止瀉劑	(37)
一	、阿仙藥	(37)
二	、拳參	(38)
三	、五倍子	(38)
四	、地榆	(38)
五	、白頭翁	(39)
六	、蘇鐵 (千年裏)	(39)
第五章	驅蟲劑	(40)
一	、烏梅	(40)
二	、鶴蟲 (雷鹿草)	(40)
三	、苦楝皮	(40)
四	、山椒 (花椒)	(41)
五	、鵝胡菜 (海人草)	(41)
六	、使君子	(42)
七	、石榴	(42)
八	、大蒜	(43)
九	、南瓜仁	(43)

一〇、蕃椒	(44)
一一、檳榔子	(44)
一二、綿馬	(44)
第六章 祛瘀劑	(45)
一、遠志(瓜蔓)	(45)
二、括樓	(45)
三、枳椇	(46)
四、款冬	(46)
五、皂莢	(47)
六、沙參	(47)
七、石蒜	(48)
八、竹節人參(土參)	(48)
第七章 鎮咳	(48)
一、墨聚壳	(48)
二、杏仁	(49)
三、五味子	(49)
四、南天燭	(50)
五、貝母	(50)
六、枇杷	(51)
七、麻黃	(52)
八、蔓陀羅花	(53)
第八章 強心劑	(53)
一、金銀花	(53)
二、樟	(53)
三、鈴蘭(君影草)	(54)
四、福壽草	(54)

五、萬年青	(54)
第九章 利尿劑	(55)
一、威靈仙	(55)
二、越橘	(55)
三、夏枯草	(55)
四、甘遂	(56)
五、玉蜀黍(蕊)	(56)
六、牛膝	(57)
七、香薷	(57)
八、山扁豆	(58)
九、酸漿(燈籠草)	(58)
十、車前	(58)
一一、商陸	(59)
一二、藜草(十藥)	(59)
一三、桑白皮	(59)
一四、蒼朮	(60)
一五、瀉澤	(60)
一六、豬苓	(61)
一七、獨活	(61)
一八、東瓜子	(62)
一九、忍冬花金銀花	(62)
二〇、敗醬苦菜	(62)
二一、白檀	(62)
二二、茯苓	(63)
二三、望之	(63)
二四、茅根	(63)

二五、木通	(64)
二六、木角豆	(64)
第十章 鎮靜劑	(65)
一、酸棗仁	(65)
二、川芎	(65)
三、釣藤鉤	(66)
四、當歸	(66)
五、半夏	(67)
六、牡丹皮	(68)
第十一章 鎮痙劑	(68)
一、烏頭	(68)
二、烏藥	(69)
三、鐵草	(69)
四、泊夫藍(薔紅花)	(70)
五、芍藥	(70)
六、天南星	(70)
七、白芷	(71)
八、伏龍肝	(71)
第十二章 鎮痛劑	(72)
一、延胡索	(72)
二、陶草	(72)
三、蟾酥	(73)
四、白屈菜	(73)
五、防已	(73)
六、莨菪	(74)
第十三章 滋養、強壯及變質藥	(75)

一、玉竹(萎蕤).....	(75)
二、淫羊藿.....	(75)
三、鼯鼠糞(土龍糞).....	(75)
四、黃耆.....	(76)
正、黃精.....	(76)
六、海松子.....	(77)
七、粳米.....	(77)
八、何首烏.....	(77)
九、胡桃仁.....	(77)
一〇、五加皮.....	(78)
一一、山茱萸.....	(78)
一二、薯蕷(山藥).....	(79)
一三、女貞.....	(79)
一四、蛇牀子.....	(79)
一五、穿山甲.....	(80)
一六、大棗.....	(80)
一七、地骨皮(枸杞).....	(80)
一八、地黃.....	(81)
一九、天門冬.....	(82)
二〇、天麻.....	(82)
二一、黃絲子.....	(82)
二二、杜仲.....	(83)
二三、土茯苓.....	(83)
二四、人參.....	(83)
二五、人參白.....	(84)
二六、肉蓯蓉.....	(85)

二七、巴戟天(不凋草).....	(85)
二八、反鼻蛇(蝮蛇).....	(85)
二九、麥門冬(麥冬).....	(86)
三〇、木天蓼.....	(86)
三一、鼈薊仁.....	(87)
三二、連錢草.....	(87)
三三、麻角.....	(88)
第十四章 矯味藥.....	(88)
一、甘草.....	(88)
二、土常山.....	(89)
三、薄荷葉.....	(89)
四、蜂蜜.....	(89)
第十五章 止血劑.....	(90)
一、阿膠.....	(90)
二、小連翹.....	(90)
三、艾葉.....	(91)
四、川骨(萍蓬草).....	(91)
五、馬勃(馬兜勃).....	(91)
六、白堊.....	(92)
七、蒲黃.....	(92)
八、木賊.....	(92)
第十六章 通經劑.....	(93)
一、馬鞭草.....	(93)
二、紅花.....	(93)
三、香附子.....	(94)
四、三稜.....	(94)

五、草棉	(94)
第十七章 外用劑	(95)
一、三七 (金不换)	(95)
二、紫根 (紫草)	(95)
三、水蠟花	(96)
四、接骨木	(96)
五、接骨草	(96)
六、羊蹄 (金喬)	(96)
七、連翹	(97)
第十八章 殺虫劑	(97)
一、苦參	(97)
二、除虫菊粉	(98)
三、馬醉木	(98)
四、百部	(98)
五、藜蘆	(98)
第三篇 處方集	(101)
一、茵陳蒿湯	(101)
二、茵陳五苓散	(101)
三、越婢湯	(101)
四、越婢加半夏湯	(101)
五、黃芩湯	(102)
六、黃土湯	(102)
七、黃連湯	(102)
八、黃連解毒丸	(102)
九、甘草湯	(102)
一〇、甘草小麥大棗湯	(102)

一一、甘草乾薑湯	(102)
一二、葛根湯	(103)
一三、葛根加苓朮附湯	(103)
一四、葛根加半夏湯	(103)
一五、葛根黃連黃芩湯	(103)
一六、乾薑黃連黃芩人參湯	(103)
一七、乾薑人參半夏丸	(104)
一八、橘皮湯	(104)
一九、橘皮竹茹湯	(104)
二〇、桔梗湯	(104)
二一、桔梗白散	(104)
二二、枳朮湯	(104)
二三、枳實芍藥散	(104)
二四、芎歸膠艾湯	(104)
二五、桂枝湯	(105)
二六、桂枝加芍藥湯	(105)
二七、桂枝加芍藥大黃湯	(105)
二八、桂枝加茯苓湯	(105)
二九、桂枝加茯苓附湯	(105)
三〇、五苓散	(106)
三一、吳茱萸湯	(106)
三二、柔胡桂枝湯	(106)
三三、柴胡桂枝乾薑湯	(106)
三四、酸棗仁湯	(106)
三五、三物黃芩湯	(106)
三六、真武湯	(106)

三七、四逆散	(107)
三八、四逆湯	(107)
三九、瀉心湯	(107)
四〇、參連湯	(107)
四一、生薑瀉心湯	(107)
四二、鷓鴒菜湯	(107)
四三、芍藥甘草附子湯	(107)
四四、炙甘草湯	(108)
四五、小青龍湯	(108)
四六、小陷胸湯	(108)
四七、小柴胡湯	(108)
四八、小承氣湯	(108)
四九、小半夏湯	(108)
五〇、小半夏加茯苓湯	(108)
五一、走馬湯	(109)
五二、澤瀉湯	(109)
五三、大青龍湯	(109)
五四、大柴胡湯	(109)
五五、大承氣湯	(109)
五六、大黃牡丹皮湯	(109)
五七、大陷胸湯	(109)
五八、大建中湯	(110)
五九、竹葉石膏湯	(110)
六〇、豬苓湯	(110)
六一、調胃承氣湯	(110)
六二、通脈四逆湯	(110)

六三、通脈四逆加熊胆湯……………	(110)
六四、當歸芍藥散……………	(110)
六五、當歸四逆湯……………	(110)
六六、當歸四逆加吳茱萸生薑湯……………	(111)
六七、桃仁承氣湯……………	(111)
六八、人參湯……………	(111)
六九、伯州散……………	(111)
七〇、排膿散……………	(111)
七一、排膿湯……………	(111)
七二、八味丸……………	(112)
七三、白頭翁湯……………	(112)
七四、白頭翁加甘草阿膠湯……………	(112)
七五、半夏湯……………	(112)
七六、半夏瀉心湯……………	(112)
七七、半夏厚朴湯……………	(112)
七八、麥門冬湯……………	(112)
七九、備急丸……………	(113)
八〇、白朮湯……………	(113)
八一、白朮加桂枝湯……………	(113)
八二、白虎加人參湯……………	(113)
八三、附子瀉心湯……………	(113)
八四、附子粳米湯……………	(113)
八五、茯苓甘草湯……………	(113)
八六、茯苓湯……………	(113)
八七、麻黃湯……………	(114)
八八、麻黃杏仁甘草石膏湯……………	(114)

-
- 八九、麻黃連翹赤小豆湯…………… (114)
- 九〇、麻黃杏仁豉甘草湯…………… (114)
- 九一、木防己湯…………… (114)
- 九二、木防己加茯苓湯…………… (114)
- 九三、木防己去石膏加茯苓湯…………… (115)
- 九四、薤白湯…………… (115)
- 九五、薤白附子散…………… (115)
- 九六、苓薤朮甘湯…………… (115)
- 九七、苓桂朮甘湯…………… (115)
- 九八、苓桂甘棗湯…………… (115)
- 九九、龍胆瀉肝湯…………… (115)

實用中藥大要

第一篇 總論

第一章 調製法

調製時當注意採集的時間，乾燥與生熟，陳新與修治等各項，今概述於下：

一、採集與乾燥

採集莖葉當選夏日繁茂時期，朝晨採集最佳。

採掘根於八月以後二月以前，冬季能認清根的藥材，則十二月、一月採掘爲最良時期（根中含成份最精）。

採葉於夏秋晒乾，於冬春陰乾。例如：紫蘇、薄荷、益母草之類。七、八月早晨摘其生葉，除去虫砂，最好用水洗，當日曝之，翌日陰之，長久日曝，有損形色氣味。

二、生熟與新陳

生用藥物如芍藥根，使其乾燥而使用之。

熟用藥物如地黃根，經一定的時間煮沸而使用之（別名熟地黃）。

陳新依古代之六陳八新說；吳茱萸，橘皮，狼毒，半夏，枳實，麻黃等六種以陳品爲貴。紫蘇、薄荷、蘭花、赤小豆、桃花、澤蘭、槐花、款冬花等八種以新鮮者爲良。

要之，採集時有不快臭味，富刺激性者，可緩和一時期，即用陳者爲佳。而有香氣富有揮發成份者，放置有變敗之虞者，一般使用新鮮者爲良。

三、修治法（炮製法）

修治法即是多種多樣的調製法，炮炙，炒焙，煨蒸，蜜製，酒製，醋製，薑製，土製，鹽製，童便製等。

中藥往往同一藥物修治法，因時而異，因用而異，且經不同之修治，藥度與用途亦都改變。今舉香附子爲例：

- | | |
|----------------|------------|
| 1、生者行上胸膈，達外皮膚。 | 6、青鹽炒，補腎氣。 |
| 2、熟者走下肝腎，外腰足。 | 7、酒浸炒，行經路。 |
| 3、炒黑止血。 | 8、醋浸炒，消積聚。 |
| 4、得童便浸炒，入血分補虛。 | 9、薑汁炒，化痰飲。 |
| 5、鹽水漬炒，入血分潤燥。 | |

炮炙之操作，防藥物之變質，避生虫，有良佳之香味、色相，將各種方法列下：

- (1) 炮——用麪粉或厚濕紙包，入熱灰燒之。
- (2) 煨——在熱灰中轉輾之。
- (3) 炙——切成大小適當之片塊，塗以蜜酒、薑汁等在炭火中炙（甘草、黃耆即用此法）。
- (4) 煨——將藥物投入炭火燒（石膏、龍骨即用此法）。
- (5) 焙——炙藥物於厚紙上或瓦上。
- (6) 炒——藥物切後入瓦器中，置炭火上炒之。

第二章 應用方法

上述調製法，製成之藥，適應各種藥物之性質與效用，有丸、散、湯、酒、漬、煎膏等用法。